



国際交流の取り組みとして 留学生を受け入れています!

東海村と県立東海高等学校は、令和6年2月にフレンドシップ協定を締結し、連携して情報発信や、学生が活躍するまちづくりに取り組んでいます。今回は、東海高校が推進する国際交流についてご紹介します。

【問い合わせ】茨城県立東海高等学校(☎282-7501)、地域戦略課わかものまちな推進担当(☎282-1711 内線1339)



Farewell! Noah & Valerie

留学生の帰国集会が行われました

東海高校では、令和5年から留学生を受け入れており、生徒たちと一緒に授業や課外活動などの学校生活を送っています。昨年度から7月にかけて在校していた留学生2人の帰国にあたり、7月19日に帰国集会が行われました。壇上で2人から語られる思い出話に笑顔があふれた生徒たち。中には、別れの涙を流す姿も…。留学生との学校生活は、東海高校生にとって大きな学びであったとともに、一生の思い出として心に刻まれたことかと思えます。

留学生の2人にインタビュー!



ノア・バーシュタインさん/アメリカ合衆国
(令和5年9月~令和6年7月に在校)

ヴァレリー・バルユーさん/オランダ
(令和6年1月~7月に在校)

日本の学生の印象は?

ノア：静かな人が多いイメージだったけど、**東海高校のみんなは楽しい人ばかり**で、いつも優しくしてもらいました。

ヴァレリー：日本人は大人しいイメージだったけど、実際は面白い人がいっぱい!**みんな親切で、笑顔がすてき**です。

東海村でお気に入りの場所は?

ノア：漢字やひらがなを練習した**村立図書館**です。小学生向けの本でも日本語を勉強しました。

ヴァレリー：授業で**歴史と未来の交流館**へ行きました。歴史を学んだほか、けん玉や羽根つきなど日本の遊びが楽しかったです。

最後に一言メッセージを!

ノア：将来はこの経験を生かして**外交官になり、東海村に戻ってきたい!**

ヴァレリー：次回はもう少し長く滞在して、**もっと日本の文化を学びたい!**

Thank you!
Noah, Valerie!



正木昇校長からのメッセージ



—グローバルな体験から生徒の可能性を広げたい—

東海高校での留学生の受け入れは初めてのことでしたが、言語だけでなく、ともに学校生活を送ることにより文化や考え方の違いを学び、グローバル感覚を養ってもらいたいという思いから、留学生の受け入れを決めました。このような取り組みが東海高校の魅力の一つになり、東海村の皆さんが今以上に誇れるような東海高校にしていきたいです。

東海高校では、9月から新たに2人(ニュージーランドから1人、ドイツから1人)の留学生を受け入れています。今後もグローバルな交流を推進していきます。

6年ぶりに一般公開の文化祭「東海高校晴嵐祭」を開催します!

日時▼11月9日(土)午前10時~午後2時

場所▼県立東海高等学校

その他▼▽入場制限を設けているため、中学生以上の方は、入場時に名前の記入と顔写真入りの身分証(学生証、運転免許証、マイナンバーカード等)の提示をお願いします(名札付き制服を着用の中学生は身分証の提示は不要)。小学生は身分証の提示は必要ありません。▽上履きの持参にご協力ください。▽駐車場はありませんので、お越しの際は公共交通機関をご利用ください。

多くの皆さんのご来場をお待ちしています!